

愛称：円のソムリエ
 アムンディ・ジャパン・プラス
 債券ファンド

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--|------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／債券 | |
| 信託期間 | 2011年1月31日から無期限です。 | |
| 運用方針 | アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の国債等に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則としてマザーファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ることをめざします。 | |
| 主要運用対象 | アムンディ・ジャパン・プラス債券ファンド | アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンドの受益証券 |
| | アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド | 日本を含む世界の国債等 |
| 組入制限 | 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます）への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 | |
| 分配方針 | 毎決算時（年12回、原則毎月18日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 | |

運用報告書（全体版）
 第11作成期

第61期（決算日 2016年2月18日）
 第62期（決算日 2016年3月18日）
 第63期（決算日 2016年4月18日）
 第64期（決算日 2016年5月18日）
 第65期（決算日 2016年6月20日）
 第66期（決算日 2016年7月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、作成期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りませう、よろしくご愛顧申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<http://www.amundi.co.jp>

アムンディ・ジャパン・プラス債券ファンド

■最近5作成期の運用実績

| | 決 算 期 | 基 準 価 額 (分配落) | 税 込 み 分 配 金 | 期 中 騰 落 率 | 参 考 指 数 | 期 中 騰 落 率 | 債 券 組 入 率 比 | 純 資 産 額 |
|--------|-------------------|------------------|----------------|--------------|---------|--------------|----------------|---------|
| | | | | | | | | |
| 第7作成期 | 37期 (2014年2月18日) | 9,792 | 40 | 0.8 | 10,733 | 0.4 | 96.6 | 374 |
| | 38期 (2014年3月18日) | 9,819 | 40 | 0.7 | 10,724 | △0.1 | 96.0 | 327 |
| | 39期 (2014年4月18日) | 9,792 | 40 | 0.1 | 10,748 | 0.2 | 96.8 | 314 |
| | 40期 (2014年5月19日) | 9,870 | 40 | 1.2 | 10,759 | 0.1 | 96.6 | 311 |
| | 41期 (2014年6月18日) | 9,734 | 40 | △1.0 | 10,776 | 0.2 | 97.4 | 297 |
| | 42期 (2014年7月18日) | 9,838 | 40 | 1.5 | 10,817 | 0.4 | 97.1 | 291 |
| 第8作成期 | 43期 (2014年8月18日) | 9,938 | 30 | 1.3 | 10,844 | 0.3 | 96.9 | 298 |
| | 44期 (2014年9月18日) | 9,838 | 30 | △0.7 | 10,818 | △0.2 | 100.0 | 284 |
| | 45期 (2014年10月20日) | 10,057 | 30 | 2.5 | 10,879 | 0.6 | 96.0 | 290 |
| | 46期 (2014年11月18日) | 10,006 | 30 | △0.2 | 10,909 | 0.3 | 98.1 | 257 |
| | 47期 (2014年12月18日) | 10,150 | 30 | 1.7 | 11,051 | 1.3 | 96.2 | 255 |
| | 48期 (2015年1月19日) | 10,308 | 30 | 1.9 | 11,193 | 1.3 | 93.5 | 254 |
| 第9作成期 | 49期 (2015年2月18日) | 10,139 | 30 | △1.3 | 10,976 | △1.9 | 98.0 | 218 |
| | 50期 (2015年3月18日) | 10,133 | 30 | 0.2 | 11,055 | 0.7 | 96.5 | 219 |
| | 51期 (2015年4月20日) | 10,242 | 30 | 1.4 | 11,100 | 0.4 | 95.6 | 224 |
| | 52期 (2015年5月18日) | 10,033 | 30 | △1.7 | 11,045 | △0.5 | 98.3 | 216 |
| | 53期 (2015年6月18日) | 9,912 | 30 | △0.9 | 11,011 | △0.3 | 98.2 | 203 |
| | 54期 (2015年7月21日) | 9,878 | 30 | △0.0 | 11,032 | 0.2 | 98.5 | 187 |
| 第10作成期 | 55期 (2015年8月18日) | 9,969 | 30 | 1.2 | 11,067 | 0.3 | 98.1 | 179 |
| | 56期 (2015年9月18日) | 9,938 | 30 | △0.0 | 11,109 | 0.4 | 96.0 | 174 |
| | 57期 (2015年10月19日) | 10,001 | 30 | 0.9 | 11,124 | 0.1 | 98.0 | 171 |
| | 58期 (2015年11月18日) | 9,911 | 30 | △0.6 | 11,134 | 0.1 | 98.1 | 173 |
| | 59期 (2015年12月18日) | 9,877 | 30 | △0.0 | 11,203 | 0.6 | 99.1 | 173 |
| | 60期 (2016年1月18日) | 9,950 | 30 | 1.0 | 11,258 | 0.5 | 95.8 | 175 |
| 第11作成期 | 61期 (2016年2月18日) | 10,097 | 10 | 1.6 | 11,422 | 1.5 | 95.4 | 167 |
| | 62期 (2016年3月18日) | 10,095 | 10 | 0.1 | 11,702 | 2.5 | 93.7 | 259 |
| | 63期 (2016年4月18日) | 10,177 | 10 | 0.9 | 11,747 | 0.4 | 95.6 | 681 |
| | 64期 (2016年5月18日) | 10,149 | 10 | △0.2 | 11,750 | 0.0 | 95.7 | 1,146 |
| | 65期 (2016年6月20日) | 10,228 | 10 | 0.9 | 11,814 | 0.5 | 94.6 | 2,339 |
| | 66期 (2016年7月19日) | 10,256 | 10 | 0.4 | 11,883 | 0.6 | 97.8 | 3,155 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。以下同じ。

(注3) 参考指数はNOMURA-BPI総合です。NOMURA-BPI総合は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる委託会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。以下同じ。

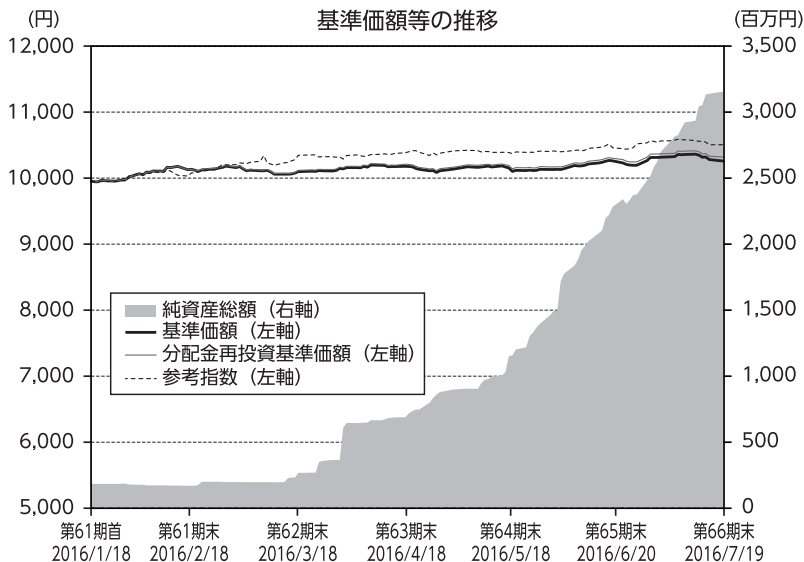
■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

| 決算期 | 年 月 日 | 基準価額 | 騰 落 率 | 参考指数 | 騰 落 率 | 債券組入率 比 |
|------|-------------------|------------|--------|--------|--------|------------|
| | | | | | | |
| 第61期 | (期 首) 2016年 1月18日 | 円 9,950 | % — | 11,258 | % — | % 95.8 |
| | 1月末 | 10,016 | 0.7 | 11,350 | 0.8 | 98.0 |
| | (期 末) 2016年 2月18日 | 10,107 | 1.6 | 11,422 | 1.5 | 95.4 |
| 第62期 | (期 首) 2016年 2月18日 | 10,097 | — | 11,422 | — | 95.4 |
| | 2月末 | 10,156 | 0.6 | 11,542 | 1.1 | 94.1 |
| | (期 末) 2016年 3月18日 | 10,105 | 0.1 | 11,702 | 2.5 | 93.7 |
| 第63期 | (期 首) 2016年 3月18日 | 10,095 | — | 11,702 | — | 93.7 |
| | 3月末 | 10,137 | 0.4 | 11,636 | △ 0.6 | 95.7 |
| | (期 末) 2016年 4月18日 | 10,187 | 0.9 | 11,747 | 0.4 | 95.6 |
| 第64期 | (期 首) 2016年 4月18日 | 10,177 | — | 11,747 | — | 95.6 |
| | 4月末 | 10,109 | △0.7 | 11,737 | △ 0.1 | 96.6 |
| | (期 末) 2016年 5月18日 | 10,159 | △0.2 | 11,750 | 0.0 | 95.7 |
| 第65期 | (期 首) 2016年 5月18日 | 10,149 | — | 11,750 | — | 95.7 |
| | 5月末 | 10,127 | △0.2 | 11,778 | 0.2 | 96.9 |
| | (期 末) 2016年 6月20日 | 10,238 | 0.9 | 11,814 | 0.5 | 94.6 |
| 第66期 | (期 首) 2016年 6月20日 | 10,228 | — | 11,814 | — | 94.6 |
| | 6月末 | 10,310 | 0.8 | 11,923 | 0.9 | 93.4 |
| | (期 末) 2016年 7月19日 | 10,266 | 0.4 | 11,883 | 0.6 | 97.8 |

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、騰落率は各期首比です。

【基準価額等の推移】

| | |
|----------------|---------------------|
| 第61期首 | 9,950円 |
| 第66期末 | 10,256円 |
| 既払分配金 (税込み) | 60円 |
| 騰落率 | 3.7% (分配金再投資ベース) |



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 参考指数は、NOMURA-BPI総合です。
- (注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2016年1月18日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 当作成期初から2016年2月中旬にかけて、FOMC（米連邦公開市場委員会）の声明が金融市場に配慮された内容であったことから米国の早期利上げ観測が後退し、世界的に国債利回りが低下（債券価格は上昇）したこと
- ② 2016年1月末に、日銀がマイナス金利の導入を決定したことから、日本国債の利回りの低下基調が続いたこと
- ③ 2016年6月、イギリスのEU（欧州連合）離脱の可能性が高まるにつれリスク回避の動きが強まり、世界的に国債利回りが低下したこと

下落要因

- ① 2016年3月、米国の堅調な雇用統計を受けてイエレンFRB（米連邦準備理事会）議長が利上げの継続を示唆し、海外国債の利回りが上昇（債券価格は下落）したこと
- ② 2016年7月上旬から当作成期末にかけて、イギリスのEU離脱決定に伴う金融市場の混乱が収束するにつれて、世界的に国債利回りが上昇したこと

【投資環境】

投資環境につきましては、主要投資対象であるアムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンドの運用報告書（後述）をご参照ください。

【ポートフォリオ】

<当ファンド>

当ファンドは、アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、マザーファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド>

マザーファンドのポートフォリオにつきましては、アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンドの運用報告書（後述）をご参照ください。

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（各期の分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

<当ファンド>

引き続きアムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行います。また、実質組入外貨建資産については、マザーファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

<アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド>

マザーファンドの今後の運用方針につきましては、アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンドの運用報告書（後述）をご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 第61期～第66期 (2016年1月19日 ～2016年7月19日) | | 項 目 の 概 要 |
|---|---|---|--|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社) | 36円 (16) (16) (3) | 0.351% (0.157) (0.162) (0.032) | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他) | 1 (0) (1) (0) (0) | 0.013 (0.003) (0.005) (0.004) (0.000) | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合 計 | 37 | 0.364 | |

期中の平均基準価額は10,142円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに
小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2016年1月19日から2016年7月19日まで)

| 決 算 期 | 第 61 期 ～ 第 66 期 | | | |
|-------------------------|-----------------|-----------|--------|--------|
| | 設 定 | | 解 約 | |
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド | 2,170,830 | 2,982,400 | 37,608 | 51,350 |

(注) 単位未満は切捨てです。

■ 利害関係人との取引状況等 (2016年1月19日から2016年7月19日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2016年7月19日現在)

親投資信託残高

| 銘 | 柄 | 第10作成期末(第60期末) | | 第11作成期末(第66期末) | | |
|-------------------------|---|----------------|---------|----------------|-----------|-----------|
| | | 口 | 数 | 口 | 数 | 評 価 額 |
| | | | 千口 | | 千口 | 千円 |
| アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド | | | 131,747 | | 2,264,969 | 3,141,059 |

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド全体の受益権口数は当作成期末18,865,733千口です。

■投資信託財産の構成 (2016年7月19日現在)

| 項 目 | 第11作成期末(第66期末) | |
|-------------------------|----------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド | 3,141,059 | 99.4 |
| コール・ローン等、その他 | 18,963 | 0.6 |
| 投資信託財産総額 | 3,160,022 | 100.0 |

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(15,500,757千円)の投資信託財産総額(27,861,043千円)に対する比率は55.6%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年7月19日現在における邦貨換算レートは1米ドル=105.98円、1英ポンド=140.43円、1デンマーククローネ=15.77円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項 目 | (2016年2月18日) | (2016年3月18日) | (2016年4月18日) | (2016年5月18日) | (2016年6月20日) | (2016年7月19日)現在 |
|----------------------------------|--------------|--------------|--------------|----------------|----------------|----------------|
| | 第61期末 | 第62期末 | 第63期末 | 第64期末 | 第65期末 | 第66期末 |
| (A) 資 産 | 167,419,010円 | 259,472,685円 | 682,454,063円 | 1,148,365,087円 | 2,342,778,427円 | 3,160,022,435円 |
| コール・ローン等 | 865,555 | 1,965,300 | 5,004,571 | 7,194,111 | 19,081,054 | 18,963,401 |
| アムンディ・ジャパン・プラス 債券マザーファンド(評価額) | 166,553,455 | 257,207,385 | 677,449,492 | 1,141,170,976 | 2,323,697,373 | 3,141,059,034 |
| 未 収 入 金 | — | 300,000 | — | — | — | — |
| (B) 負 債 | 273,913 | 378,999 | 999,511 | 1,671,365 | 3,424,260 | 4,797,249 |
| 未 払 収 益 分 配 金 | 165,533 | 256,655 | 669,629 | 1,129,856 | 2,287,251 | 3,076,468 |
| 未 払 解 約 金 | — | — | — | — | — | 99,999 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 100,531 | 106,965 | 303,669 | 501,768 | 1,074,709 | 1,529,962 |
| 未 払 利 息 | — | — | 10 | 19 | 52 | 49 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 7,849 | 15,379 | 26,203 | 39,722 | 62,248 | 90,771 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 167,145,097 | 259,093,686 | 681,454,552 | 1,146,693,722 | 2,339,354,167 | 3,155,225,186 |
| 元 本 | 165,533,512 | 256,655,414 | 669,629,644 | 1,129,856,517 | 2,287,251,170 | 3,076,468,657 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 1,611,585 | 2,438,272 | 11,824,908 | 16,837,205 | 52,102,997 | 78,756,529 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 165,533,512口 | 256,655,414口 | 669,629,644口 | 1,129,856,517口 | 2,287,251,170口 | 3,076,468,657口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,097円 | 10,095円 | 10,177円 | 10,149円 | 10,228円 | 10,256円 |

(注記事項)

| | |
|-------------|----------------|
| 作成期首元本額 | 176,874,414円 |
| 作成期中追加設定元本額 | 3,096,324,205円 |
| 作成期中一部解約元本額 | 196,729,962円 |

アムンディ・ジャパン・プラス債券ファンド

■ 損益の状況

第61期 自2016年1月19日 至2016年2月18日 第64期 自2016年4月19日 至2016年5月18日
 第62期 自2016年2月19日 至2016年3月18日 第65期 自2016年5月19日 至2016年6月20日
 第63期 自2016年3月19日 至2016年4月18日 第66期 自2016年6月21日 至2016年7月19日

| 項 目 | 第 61 期 | 第 62 期 | 第 63 期 | 第 64 期 | 第 65 期 | 第 66 期 |
|-----------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| (A) 配 当 等 收 益 | －円 | －円 | △ 10円 | △ 442円 | △ 842円 | △ 2,197円 |
| 支 払 利 息 | － | － | △ 10 | △ 442 | △ 842 | △ 2,197 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 2,601,813 | 530,605 | 4,725,347 | △ 271,658 | 19,475,056 | 7,503,595 |
| 売 買 益 | 2,760,246 | 574,926 | 4,742,107 | 6,687 | 19,526,397 | 7,557,166 |
| 売 買 損 | △ 158,433 | △ 44,321 | △ 16,760 | △ 278,345 | △ 51,341 | △ 53,571 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 108,380 | △ 114,495 | △ 314,493 | △ 515,287 | △ 1,097,274 | △ 1,558,485 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A+B+C) | 2,493,433 | 416,110 | 4,410,844 | △ 787,387 | 18,376,940 | 5,942,913 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | △1,143,435 | 1,153,868 | 1,304,444 | 5,030,879 | 3,106,438 | 17,876,462 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 427,120 | 1,124,949 | 6,779,249 | 13,723,569 | 32,906,870 | 58,013,622 |
| (配 当 等 相 当 額) | (2,674,966) | (4,838,016) | (14,892,617) | (28,978,551) | (63,684,156) | (94,462,504) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△2,246,946) | (△3,713,067) | (△8,113,368) | (△15,254,982) | (△30,777,286) | (△36,448,882) |
| (G) 計 (D+E+F) | 1,777,118 | 2,694,927 | 12,494,537 | 17,967,061 | 54,390,248 | 81,832,997 |
| (H) 収 益 分 配 金 | △ 165,533 | △ 256,655 | △ 669,629 | △ 1,129,856 | △ 2,287,251 | △ 3,076,468 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G+H) | 1,611,585 | 2,438,272 | 11,824,908 | 16,837,205 | 52,102,997 | 78,756,529 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | 427,120 | 1,124,949 | 6,779,249 | 13,723,569 | 32,906,870 | 58,013,622 |
| (配 当 等 相 当 額) | (2,680,094) | (4,894,831) | (15,110,627) | (29,219,009) | (64,324,788) | (94,893,820) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△2,252,974) | (△3,769,882) | (△8,331,378) | (△15,495,440) | (△31,417,918) | (△36,880,198) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 1,184,465 | 1,313,323 | 5,045,659 | 4,416,693 | 19,196,127 | 20,742,907 |
| 繰 越 損 益 金 | － | － | － | △ 1,303,057 | － | － |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

第61期計算期間末における費用控除後の配当等収益(193,339円)、費用控除後の有価証券等損益額(1,126,078円)、信託約款に規定する収益調整金(2,680,094円)および分配準備積立金(30,581円)より分配対象収益は4,030,092円(10,000口当たり243円)であり、うち165,533円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第62期計算期間末における費用控除後の配当等収益(192,728円)、費用控除後の有価証券等損益額(223,382円)、信託約款に規定する収益調整金(4,894,831円)および分配準備積立金(1,153,868円)より分配対象収益は6,464,809円(10,000口当たり251円)であり、うち256,655円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第63期計算期間末における費用控除後の配当等収益(682,697円)、費用控除後の有価証券等損益額(3,728,147円)、信託約款に規定する収益調整金(15,110,627円)および分配準備積立金(1,304,444円)より分配対象収益は20,825,915円(10,000口当たり310円)であり、うち669,629円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第64期計算期間末における費用控除後の配当等収益(515,670円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(29,219,009円)および分配準備積立金(5,030,879円)より分配対象収益は34,765,558円(10,000口当たり307円)であり、うち1,129,856円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第65期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,879,940円)、費用控除後の有価証券等損益額(15,196,956円)、信託約款に規定する収益調整金(64,324,788円)および分配準備積立金(4,406,482円)より分配対象収益は85,808,166円(10,000口当たり375円)であり、うち2,287,251円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第66期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,001,819円)、費用控除後の有価証券等損益額(3,941,094円)、信託約款に規定する収益調整金(94,893,820円)および分配準備積立金(17,876,462円)より分配対象収益は118,713,195円(10,000口当たり385円)であり、うち3,076,468円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

| 決 算 期 | 第61期 | 第62期 | 第63期 | 第64期 | 第65期 | 第66期 |
|-------------------|------|------|------|------|------|------|
| 1 万口当たりの分配金 (税込み) | 10円 | 10円 | 10円 | 10円 | 10円 | 10円 |

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超過して支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

(単位：円・1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第61期 | 第62期 | 第63期 | 第64期 | 第65期 | 第66期 |
|-----------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | (2016年1月19日 ~2016年2月18日) | (2016年2月19日 ~2016年3月18日) | (2016年3月19日 ~2016年4月18日) | (2016年4月19日 ~2016年5月18日) | (2016年5月19日 ~2016年6月20日) | (2016年6月21日 ~2016年7月19日) |
| 当期分配金 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| (対基準価額比率) | (0.099%) | (0.099%) | (0.098%) | (0.098%) | (0.098%) | (0.097%) |
| 当期の収益 | 10 | 8 | 10 | 4 | 10 | 10 |
| 当期の収益以外 | — | 1 | — | 5 | — | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 233 | 241 | 300 | 297 | 365 | 375 |

(注1)「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2)「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

《お知らせ》

- ・平成28年4月19日付で、今後の信託報酬の引き下げに対応するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド

運用報告書

《第 11 期》

決算日：2016年7月19日

(計算期間：2016年1月19日～2016年7月19日)

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 運用方針 | 主として日本を含む世界の国債等に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ることをめざします。 |
| 主要運用対象 | 日本を含む世界の国債等 |
| 組入制限 | 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。投資信託証券（上場投資信託証券を除きます）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 |

■最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券組入率 比 | 純資産額 |
|-----------------|--------|------|--------|------|------------|--------|
| | 円 | 騰落率 | 期騰落 | 中率 | | |
| 7期(2014年7月18日) | 12,321 | 3.7 | 10,817 | 1.2 | 97.6 | 8,109 |
| 8期(2015年1月19日) | 13,196 | 7.1 | 11,193 | 3.5 | 93.7 | 11,098 |
| 9期(2015年7月21日) | 12,925 | △2.1 | 11,032 | △1.4 | 98.8 | 14,083 |
| 10期(2016年1月18日) | 13,309 | 3.0 | 11,258 | 2.0 | 96.1 | 16,324 |
| 11期(2016年7月19日) | 13,868 | 4.2 | 11,883 | 5.6 | 98.2 | 26,162 |

(注) 参考指数はNOMURA-BPI総合です。NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる委託会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。以下同じ。

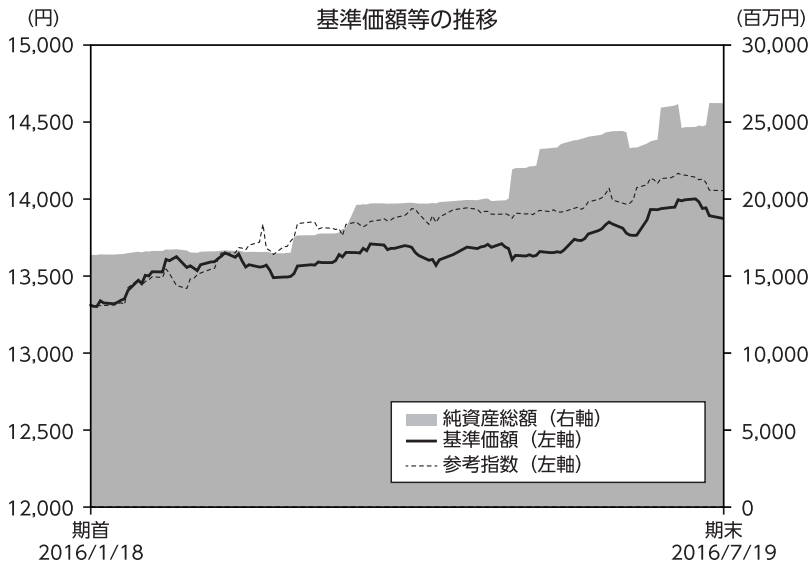
■当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券組入率 比 |
|--------------------|--------|-----|--------|-----|------------|
| | 円 | 騰落率 | 期騰落 | 中率 | |
| (期首) 2016年1月18日 | 13,309 | — | 11,258 | — | 96.1 |
| 1月末 | 13,401 | 0.7 | 11,350 | 0.8 | 98.5 |
| 2月末 | 13,616 | 2.3 | 11,542 | 2.5 | 94.7 |
| 3月末 | 13,618 | 2.3 | 11,636 | 3.4 | 96.0 |
| 4月末 | 13,599 | 2.2 | 11,737 | 4.3 | 97.2 |
| 5月末 | 13,646 | 2.5 | 11,778 | 4.6 | 97.3 |
| 6月末 | 13,924 | 4.6 | 11,923 | 5.9 | 93.9 |
| (期末) 2016年7月19日 | 13,868 | 4.2 | 11,883 | 5.6 | 98.2 |

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

| | |
|-------|---------|
| 第11期首 | 13,309円 |
| 第11期末 | 13,868円 |
| 騰落率 | 4.2% |



(注1) 参考指数は、NOMURA-BPI 総合です。

(注2) 参考指数は、2016年1月18日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 当期初から2016年2月中旬にかけて、FOMC（米連邦公開市場委員会）の声明が金融市場に配慮された内容であったことから米国の早期利上げ観測が後退し、世界的に国債利回りが低下（債券価格は上昇）したこと
- ② 2016年1月末に、日銀がマイナス金利の導入を決定したことから、日本国債の利回りの低下基調が続いたこと
- ③ 2016年6月、イギリスのEU（欧州連合）離脱の可能性が高まるにつれリスク回避の動きが強まり、世界的に国債利回りが低下したこと

下落要因

- ① 2016年3月、米国の堅調な雇用統計を受けてイエレンFRB（米連邦準備理事会）議長が利上げの継続を示唆し、海外国債の利回りが上昇（債券価格は下落）したこと
- ② 2016年7月上旬から当期末にかけて、イギリスのEU離脱決定に伴う金融市場の混乱が収束するにつれて、世界的に国債利回りが上昇したこと

【投資環境】

＜世界の国債市場＞

当期は、米国の利上げ観測の後退やイギリスのEU離脱決定に伴う金融市場の混乱などもあり、投資国の10年物国債利回りは低下基調となりました。

米国では、2016年1月下旬に公表されたFOMCの声明が混乱する金融市場に配慮された内容であったことから早期利上げ観測が後退し、10年物国債利回りは低下しました。3月に入り、米国の雇用統計が市場予想を上回るものであったことから、早期利上げ観測を織り込むかたちで10年物国債利回りは上昇しました。6月に入ると、イギリスのEU離脱に対する国民投票を前にして金融市場ではリスク回避の動きが強まり、10年物国債利回りは大きく低下しました。欧州でも、英国、デンマークの10年物国債利回りは、上昇した局面もあったものの、当期を通じてみると低下しました。日本では、1月末に日銀がマイナス金利の導入を決定したことから、日本国債の利回りは大きく低下しマイナス圏に達しました。

【ポートフォリオ】

当期初、為替ヘッジ後利回りが相対的に高い米国国債、デンマーク国債、英国国債と、リスクの低い日本国債に投資しました。2016年4月には、為替ヘッジ後利回りが相対的に低下した英国国債を全売却しデンマーク国債のウェイトを引き下げ、日本国債のウェイトを引き上げました。7月には、為替ヘッジ後利回りが相対的に低下した米国国債のウェイトを引き下げ、デンマーク国債のウェイトを引き上げました。当期末時点では、米国国債、デンマーク国債、日本国債に投資しています。また、組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

【今後の運用方針】

日本を含む世界の国債等を投資対象とし、各国の信用力や各債券の収益変動率などを勘案し、為替ヘッジ後の利回りの高い国の国債に投資していく方針です。また、組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 第11期 (2016年1月19日 ～2016年7月19日) | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------|-------------------------------------|-------------------|--|
| | 金額 | 比率 | |
| そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 0円 (0) | 0.003% (0.003) | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) | |
| 合 計 | 0 | 0.003 | |

期中の平均基準価額は13,634円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2016年1月19日から2016年7月19日まで)

公社債

| | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|-----|-----------|-----------------------|-----------------------|
| 国 内 | | 千円 | 千円 |
| | 国 債 証 券 | 11,495,108 | 5,856,925 |
| 外 国 | ア メ リ カ | 千米ドル 37,255 | 千米ドル 17,152 |
| | イ ギ リ ス | 千英ポンド 537 | 千英ポンド 4,252 |
| | デ ン マ ー ク | 千デンマーククローネ 309,126 | 千デンマーククローネ 113,648 |

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■ 主要な売買銘柄 (2016年1月19日から2016年7月19日まで)

公社債

| 買 | | 付 | 売 | |
|--------------------------|---|-----------|--------------------------|-----------|
| 銘 | 柄 | 金 額 | 銘 | 柄 |
| | | 千円 | | 千円 |
| T 2 08/15/25(アメリカ) | | 3,746,645 | 第 3 4 0 回利付国債 (10年) | 3,184,562 |
| 第 3 4 3 回利付国債 (10年) | | 3,727,602 | 第 3 3 9 回利付国債 (10年) | 1,984,930 |
| 第 3 4 2 回利付国債 (10年) | | 3,715,919 | DGB 1.5 11/15/23(デンマーク) | 1,814,119 |
| DGB 1.5 11/15/23(デンマーク) | | 3,339,098 | T 2.5 05/15/24(アメリカ) | 1,240,591 |
| 第 3 4 1 回利付国債 (10年) | | 3,316,524 | 第 3 4 1 回利付国債 (10年) | 687,433 |
| DGB 1.75 11/15/25(デンマーク) | | 1,617,531 | T 2.375 08/15/24(アメリカ) | 573,972 |
| 第 3 4 0 回利付国債 (10年) | | 735,063 | UKT 2.25 09/07/23(イギリス) | 376,773 |
| T 2 02/15/25(アメリカ) | | 321,248 | UKT 2 09/07/25(イギリス) | 301,356 |
| UKT 2.25 09/07/23(イギリス) | | 87,069 | DGB 1.75 11/15/25(デンマーク) | 73,204 |

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨てです。

(注4) 外貨建資産の金額は、外貨額を約定日の属する月の月末(決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等（2016年1月19日から2016年7月19日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2016年7月19日現在）

公社債

A 債券種類別開示

(A) 国内（邦貨建）公社債

| 区 分 | 当 期 | | | 末 | | | |
|---------|-----------|------------|---------|---------------------|-------------------|---------|---------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | う ち B B 格 以下組入比率 | 残 存 期 間 別 組 入 比 率 | | |
| | | | | | 5 年 以 上 | 2 年 以 上 | 2 年 未 満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 国 債 証 券 | 9,800,000 | 10,183,538 | 38.9 | — | 38.9 | — | — |
| 合 計 | 9,800,000 | 10,183,538 | 38.9 | — | 38.9 | — | — |

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）単位未満は切捨てです。

（注3）—印は組入れなしです。

（注4）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(B) 外国（外貨建）公社債

| 区 分 | 当 期 | | | 末 | | | | |
|----------|------------|------------|-------------|---------|---------------------|-------------------|---------|---------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | 組 入 比 率 | う ち B B 格 以下組入比率 | 残 存 期 間 別 組 入 比 率 | | |
| | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | | | 5 年 以 上 | 2 年 以 上 | 2 年 未 満 |
| | 千米ドル | 千米ドル | 千円 | % | % | % | % | % |
| ア メ リ カ | 72,500 | 75,987 | 8,053,171 | 30.8 | — | 30.8 | — | — |
| デン マ ー ク | 千デンマーククローネ | 千デンマーククローネ | 7,462,452 | 28.5 | — | 28.5 | — | — |
| 合 計 | — | — | 15,515,624 | 59.3 | — | 59.3 | — | — |

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注3）単位未満は切捨てです。

（注4）—印は組入れなしです。

（注5）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

B 個別銘柄開示

(A) 国内（邦貨建）公社債

| 種 類 | 銘 柄 | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
|---------|----------------|-----|-----------|------------|------------|
| | | % | 千円 | 千円 | |
| 国 債 証 券 | 第341回利付国債（10年） | 0.3 | 2,550,000 | 2,686,527 | 2025/12/20 |
| | 第342回利付国債（10年） | 0.1 | 3,650,000 | 3,774,611 | 2026/3/20 |
| | 第343回利付国債（10年） | 0.1 | 3,600,000 | 3,722,400 | 2026/6/20 |
| 合 計 | | | 9,800,000 | 10,183,538 | |

（注）額面・評価額の単位未満は切捨てです。

アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド

(B) 外国（外貨建）公社債

| 種 類 | 銘 柄 | 当 期 末 | | | | |
|---------|-------------------|-------|------------|------------|-------------|------------|
| | | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 | |
| | | | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | |
| 国 債 証 券 | (アメリカ) | % | 千米ドル | 千米ドル | 千円 | |
| | T 2 02/15/25 | 2.0 | 6,800 | 7,056 | 747,857 | 2025/2/15 |
| | T 2 08/15/25 | 2.0 | 33,500 | 34,740 | 3,681,803 | 2025/8/15 |
| | T 2.25 11/15/24 | 2.25 | 19,100 | 20,204 | 2,141,243 | 2024/11/15 |
| | T 2.375 08/15/24 | 2.375 | 13,100 | 13,986 | 1,482,267 | 2024/8/15 |
| 小 計 | | | | | 8,053,171 | |
| 国 債 証 券 | (デンマーク) | | 千デンマーククローネ | 千デンマーククローネ | | |
| | DGB 1.5 11/15/23 | 1.5 | 212,000 | 237,291 | 3,742,088 | 2023/11/15 |
| | DGB 1.75 11/15/25 | 1.75 | 205,000 | 235,914 | 3,720,363 | 2025/11/15 |
| 小 計 | | | | | 7,462,452 | |
| 合 計 | | | | | 15,515,624 | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成（2016年7月19日現在）

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 公 社 債 | 25,699,162 | 92.2 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 2,161,881 | 7.8 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 27,861,043 | 100.0 |

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産（15,500,757千円）の投資信託財産総額（27,861,043千円）に対する比率は55.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年7月19日現在における邦貨換算レートは1米ドル=105.98円、1英ポンド=140.43円、1デンマーククローネ=15.77円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2016年7月19日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------------------|-----------------|
| (A)資 産 | 43,459,696,178円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 2,026,657,226 |
| 公 社 債 (評 価 額) | 25,699,162,123 |
| 未 収 入 金 | 15,603,215,584 |
| 未 収 利 息 | 72,080,630 |
| 前 払 費 用 | 58,580,615 |
| (B)負 債 | 17,296,906,313 |
| 未 払 金 | 17,296,901,240 |
| 未 払 利 息 | 5,073 |
| (C)純 資 産 総 額 (A - B) | 26,162,789,865 |
| 元 本 | 18,865,733,576 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 7,297,056,289 |
| (D)受 益 権 総 口 数 | 18,865,733,576口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D) | 13,868円 |

(注記事項)

| | |
|-----------|-----------------|
| 期首元本額 | 12,266,539,024円 |
| 期中追加設定元本額 | 8,759,115,600円 |
| 期中一部解約元本額 | 2,159,921,048円 |

(当期末元本の内訳)

| | |
|-------------------------------------|-----------------|
| アムンディ・グローバル・ヘッジ債券ファンド (適格機関投資家専用) | 16,583,633,335円 |
| アムンディ・ジャパン・プラス債券ファンド | 2,264,969,018円 |
| アムンディ・ジャパン・プラス債券ファンドV.A (適格機関投資家専用) | 17,131,223円 |

■損益の状況

当期 自2016年1月19日 至2016年7月19日

| 項 目 | 当 期 |
|----------------------------|----------------|
| (A)配 当 等 収 益 | 121,517,461円 |
| 受 取 利 息 | 121,679,763 |
| 支 払 利 息 | △ 162,302 |
| (B)有 価 証 券 売 買 損 益 | 688,913,061 |
| 売 買 益 | 2,404,815,421 |
| 売 買 損 | △1,715,902,360 |
| (C)そ の 他 費 用 等 | △ 674,828 |
| (D)当 期 損 益 金 (A + B + C) | 809,755,694 |
| (E)前 期 繰 越 損 益 金 | 4,058,385,147 |
| (F)追 加 信 託 差 損 益 金 | 3,264,934,400 |
| (G)解 約 差 損 益 金 | △ 836,018,952 |
| (H) 計 (D + E + F + G) | 7,297,056,289 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (H) | 7,297,056,289 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。